

【宮古市立第二中学校産業体験】

令和3年10月12日、摺石山国有林において、宮古市立第二中学校1年生21名が、産業学習の一環として、林業を体験しました。

はじめに、スギ45年生内で3班に分かれて収穫調査を実施しました。測竿の重さにふらつきながらも、各班ともプロットの蓄積調査を無事終了できました。

次に、場所を移動してドローンを使って、2年前に完成した治山ダムを上空から確認する体験を行いました。さすが中学生らしく、ドローンからの映像に興味津々のようでした。その後、模型を使った実験で、食い入るように見つめて、治山ダムの役割の説明を聞いていました。

昼食後、木材生産現場へ移動して、大型機械による木材の集材作業や巻立て作業を見学して迫りに驚いているようでした。

この体験をきっかけにして、生徒たちが豊かな森林を守り育てる林業の役割を理解し、森林・林業に関心を深めていただけたらと思います。



木材生産の現場を熱心に見学しています



収穫調査の方法を学びました



ドローンを飛ばして治山現場を確認！



治山ダムの仕組みについて模型を用いて解説